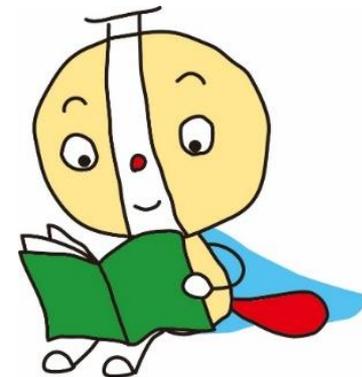


## 資料 2-2

西成区HP  
「運営方針」



# 令和7年度 西成区運営方針 【補足説明資料】



スーパーボンボンジャガビー  
にしなりくん

# 令和7年度 西成区運営方針

## 西成区の目標（何をめざすのか）

「すべてはこどもたちのために」をキャッチフレーズに、人と人とのつながりを大切に、みんなが笑顔で暮らしやすいまちをめざす。

## 西成区の使命（どのような役割を担うのか）

区民の多様な意見やニーズを把握し、地域住民等との連携・協働しながら、地域の実情や特性に即した施策や支援を行う。

## 令和7年度 西成区運営の基本的な考え方（区長の方針）

若い人や子育て世帯を呼び込み、活力あるまちをつくるため、3本柱(①子どもの夢がひろがるまち、②人と人がつながりにぎわうまち、③みんなが安心して暮らせるまち)の施策を進めていく。

令和7年度 西成区運営方針経営課題における主な具体的取組

経営課題	主な戦略	新たなアウトカム指標(案)	主な具体的取組	部会
【経営課題1】 子どもの夢が広がるまち	(1)子どもが健やかに成長できるようにする (2)すべての子どもの学習意欲があふれる環境をつくる (3)親子が安心して暮らすことができるように支える	小学校6年生と中学校3年生に対して「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問に対する肯定的な回答の割合:令和6年度実績以上  中学校3年生のチャレンジテスト(国語・数学・英語)における西成区の平均点の大阪市比:前年度実績以上  プレーパーク事業における一日あたりの平均来場者数:120人以上 実績:令和6年度72人	西成区こども生活・まなびサポート事業 外国につながる児童生徒の学習言語定着支援事業 学力分析に基づく演習を活用した苦手分野克服事業 基礎学力向上支援事業(西成ジャガビースクール) 西成区基礎学力アップ事業(西成まなび塾) 発展型学習支援事業 プレーパーク事業 障がいがある子どもや親の孤立防止支援事業	こども部会
【経営課題2】 人と人がつながりにぎわうまち	(1)住みたいまち、行ってみたいまちにする (2)地域の活動を支えてつながりをつくる (3)誰もが活躍して輝けるまちにする	西成区文化観光事業の情報発信や西成区の魅力について掲載している西成区ホームページ「観光・歴史」における閲覧数:前年度以上(令和6年度は29,859件)  地域福祉フォーラム参加者へのアンケートで「このフォーラムが身近な地域で見守りや助け合いなどのつながりづくりに役に立つと思う」と回答する割合:令和9年度までに89%(令和7年度74%、令和8年度81%、令和9年度89%)	西成区文化観光振興事業 地域コミュニティ支援事業 緑化推進事業 西成区地域福祉計画推進事業 西成版サービスハブ構築・運営事業 区における人権啓発推進事業	にぎわい部会
【経営課題3】 みんなが安心して暮らせるまち	(1)大規模災害等に備えた体制をつくる (2)行政と地域住民が連携して防犯・安全対策を行う (3)あいりん地域の環境改善事例を広げていく	地域防災訓練の実施:全地域(大雨警報等で中止になった場合も含む)  街頭における犯罪発生件数:前年より減少(令和6年:858件)  西成区の結核罹患率を令和9年までに45以下とする ※令和6年 結核罹患率 80.2(概数値) 令和7年 目標値 69 令和8年 目標値 57 令和9年 目標値 45	地域防災活動事業 防犯対策事業 自転車等安全利用啓発事業 空家等対策推進事業 あいりん地域環境整備事業(巡回・啓発等) 結核対策事業	安全あんしん部会

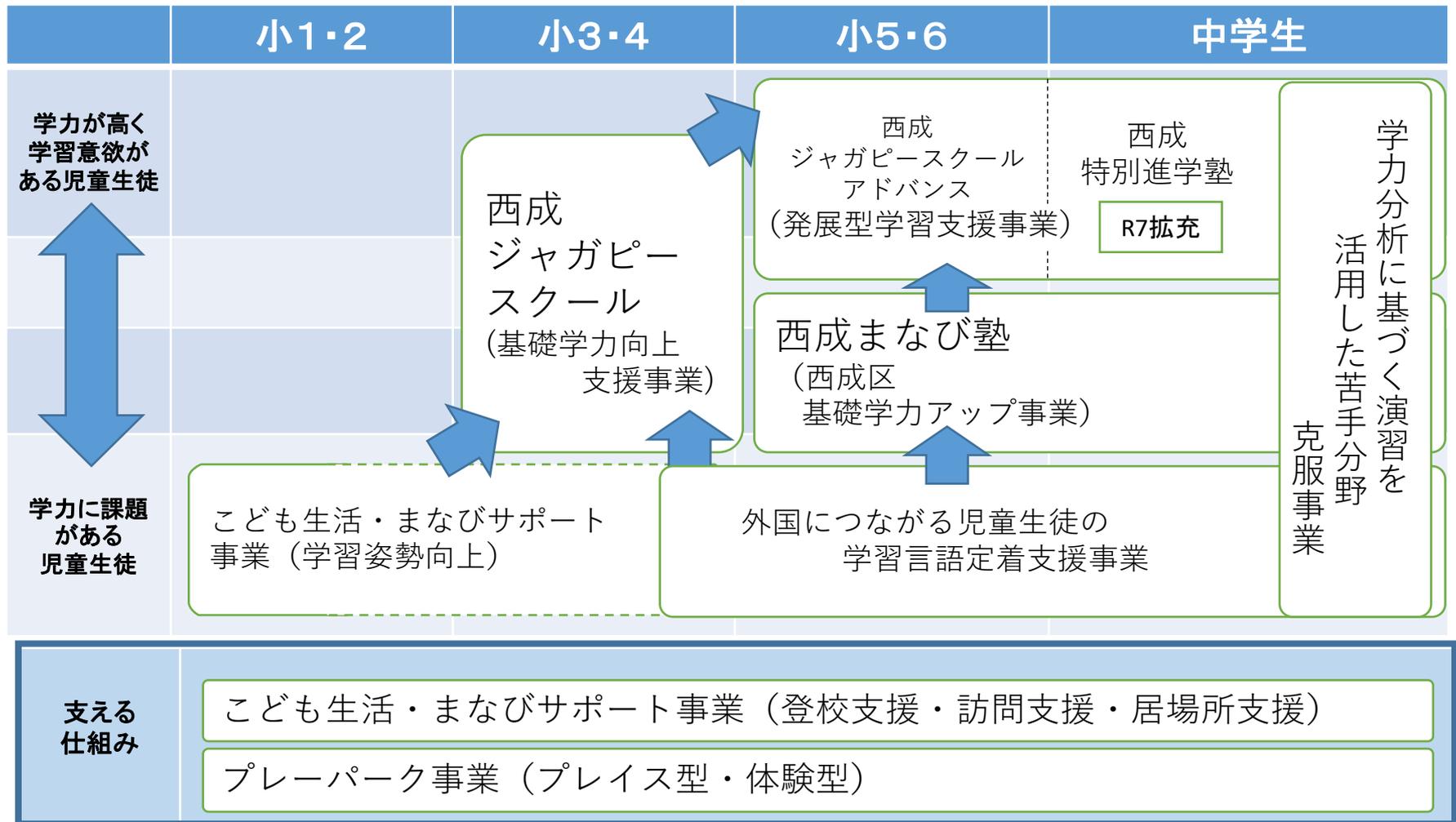
# 学力向上に向けた区施策イメージ「教育するなら西成」

## 第三期西成特区構想：人口減少に歯止めをかける。

18～25歳の若年層が流入増加も、就学前世帯（0～5歳・25～35歳）は転出超過。

⇒まちづくり（住環境）とともに、教育環境を充実し、住み続けてもらう。

◆子育て世帯の幅広いニーズに応え、「大阪市平均の学力」「不登校の実質ゼロ」の実現に向けて取り組む。



## 西成区こども生活・まなびサポート事業

5 決算額

64,232千円

6 予算額

147,859千円

7 予算額

145,859千円

### 目的

サポートが必要な児童生徒に対して、寄り添い型の支援(遅刻・不登校の対応、学習姿勢を向上させるための支援等)を行う支援員等を配置し、学びの場への定着を図る

### 令和7年度の取組内容

#### ①学習姿勢を向上させるための支援

・幼稚園・保育所等と小学校のギャップから授業に集中できない児童に寄り添い支援を行い、学習に向かう姿勢の定着を図る。(区内全小学校に配置)



#### ②登校支援・訪問支援

・電話や家庭訪問を通じて登校を促し、家から出にくい児童生徒に対しては自宅訪問によって学習支援や相談対応を行う。(区内全小中学校に配置)

#### ③居場所支援

・学校内で教室以外に登校できる居場所(別室登校)を確保し、見守りを行う。(区内1中学校に配置)

### 進捗状況

・学習姿勢を向上させるための支援として、支援員が授業中に、じっとしてられない、寝てしまう、周りより行動が遅れてしまう児童への声掛けなどの個別対応を行うことで、担任の先生が特定の児童に手を取られることなく、授業全体の進行を円滑に行えるようになりつつある。

経営課題① 子どもの夢がひろがるまち

## 外国につながる児童生徒の学習言語定着支援事業

5決算額

0千円

6予算額

9,934千円

7予算額

9,050千円

### 目的

日本語で日常会話はできるが、学力に課題がある児童生徒を対象に、母国の学校では教わっていない内容や、日本語習得中に授業を受けたため十分に理解できていなかった内容などの補習を行うために放課後学習を実施し、教科学習を通じた日本語指導を行うことにより、学習に使う日本語(学習言語)の定着と学力の向上を図る

### 令和7年度の実施内容

- ・対象者 西成区の小中学校に在学する小学校4年生～中学校3年生の帰国・来日等により学力に課題があり、日本語で日常会話ができる児童生徒。
- ・実施方法 区内の小中学校のうち2か所(岸里小、鶴見橋中)で放課後学習を実施する。
- ・実施内容 児童生徒1～3名に対して講師を1名配置し、「やさしい日本語」を用いて、個別の学習指導を行う。

### 進捗状況

- ・受講者数: 定員36名に対し、小学生20名、中学生7名(6月末現在)
- ・授業開始: 5月7日より岸里小学校教室(小学生:12名、中学生:4名)  
5月13日より鶴見橋中学校教室(小学生:8名、中学生:3名)



# 学力分析に基づく演習を活用した苦手分野克服事業

5決算額

0千円

6予算額

7,533千円

7予算額

8,358千円

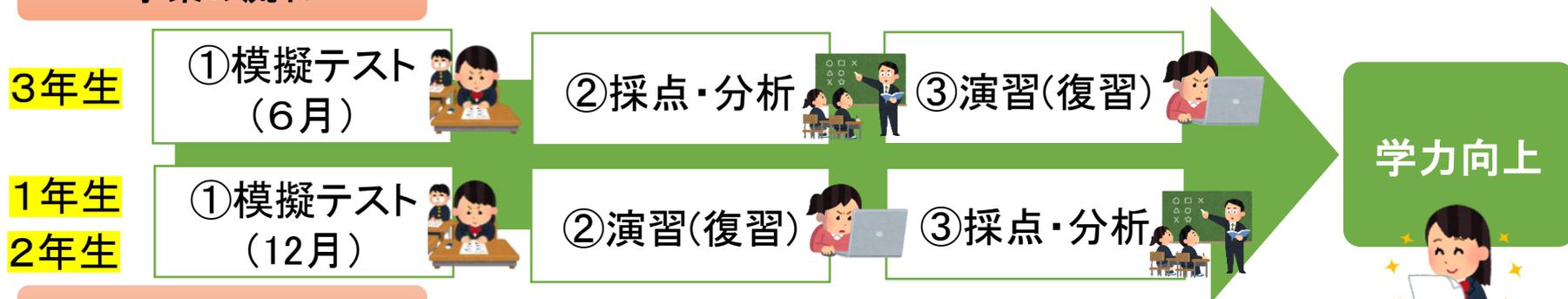
## 目的

区内全中学校で、模擬テストを通じて、生徒個々人の苦手とする分野を分析し、また、苦手分野に応じた演習問題での反復演習をすることで、学力の向上を図る

## 令和7年度の取組内容

- ・事業対象 区内中学校に在籍する中学生
- ・実施内容 5教科(国語・数学・英語・社会・理科)の模擬テストの作成、テストの採点・分析、苦手分野の反復演習用問題の作成を、事業者に委託する。  
各学校では、模擬テストの実施と苦手分野の反復演習を行う。

## 事業の流れ



## 進捗状況

- ・3年生: 5月下旬～6月上旬に模擬テストを実施し、7月4日にテスト結果と演習問題等を生徒に返却。
- ・演習問題をデジタルドリルとし、模擬テスト問題と同様の単元が学習することができる二次元コードリンク集を配布し、苦手分野の演習問題に取り組んでいる。また、デジタルドリルに搭載されている既習管理機能を活用して、演習問題の取組みが遅れている生徒に教員から声掛けをしていく。

## 発展型学習支援事業(西成ジャガピスクールアドバンス・西成特別進学塾)

5 決算額

0千円

6 予算額

16,293千円

7 予算額

23,284千円

### 目的

小学校5年生～中学校3年生を対象に、家庭の経済状況に関わらず本人が志望する水準の高校への進学ができるように、学習機会を提供し、更なる学力向上をめざす

### 令和7年度の実施内容

#### 小5・6(西成ジャガピスクールアドバンス)

場所: 区内全小学校(10か所: 定員140名)

教科: 国語・算数・英語

時間: 週1回 90分または120分

(年間100時間)

小3・4対象の西成ジャガピスクールからステップアップし、学習意欲のある児童に対して発展的な授業を実施する。

#### 中1～3(西成特別進学塾)

場所: 区内中学校(2か所: 定員80名)

教科: 国語・数学・英語

時間: 週2回 各回2時間

(年間150時間) + (家庭学習150時間)

中3は高校入試に向けて理科・社会+40時間  
高校進学に向けた発展的な内容の学習を実施する。また、成績上位の高等学校の合格には、反復演習等に取り組むことが重要なことから家庭学習時間に必要な宿題を多く課す。

### 進捗状況

- ・令和7年度から入塾テストを実施。
- ・小学校5・6年生: 定員140名に対し、申込者75名中、合格者45名。
- ・中学校1～3年生: 定員80名に対し、申込者42名中、合格者21名。
- ・5月から授業を開始し、7月に受講者を追加募集。



# プレーパーク事業

5 決算額

14,692千円

6 予算額

17,142千円

7 予算額

22,153千円

## 目的

子どもの生きる力を育む居場所として、子どもがやりたい、遊びたいと思うことを自由にできる冒険遊び場(プレーパーク)を実施

## 令和6年度の取組内容

### 【プレイス型】 にしなりジャガピーパーク

〈 場所 〉  
区内もと小学校・  
もと保育所、  
区内公園など

〈 開催日 〉  
土日祝を中心に  
年間54日

〈 実施内容 〉  
「あそび場」「まなび場」「たまり場」を実施。

どろんこ遊びの様子



### 【体験型】 ジャガパーわくわくクラブ

〈 場所 〉  
区内小学校、  
西成区役所など

〈 開催日 〉  
土日祝を中心に年間18日

〈 実施内容 〉  
体験活動により子どもの好奇心を刺激し物事  
への興味や関心を広げ、学習意欲も引き出す  
ことを目的としたイベントを実施。

理科実験教室の様子



### 区制100周年 記念イベント

〈 場所 〉  
ノア・フットサル  
ステージ天下茶屋

〈 開催日(予定) 〉  
令和7年11月16日

〈 実施内容 〉  
区制100周年記念と  
して子ども向けイベント  
を実施。

## 進捗状況

- ・(プレイス型)16日間開催し、1日平均来場者数は61名。5月31日の子ども元気まつりとの同時開催時は234名が来場(6月末集計)。
- ・(体験型 わくわくクラブ)2日間開催し、来場者数は7月12日 玉出小学校96名、7月13日 橘小学校75名。以降順次開催予定。
- ・(体験型 記念イベント)理科実験ショー、ワークショップ、あそび場スペース等のイベント開催予定。